

地球温暖化対策計画に記載した事項の実施状況

実施期間		平成 29 年度					
温室効果ガスの排出の抑制等のために実施した措置の内容		古くなった照明器具をLEDタイプに一部更新 冷水・温水のスケジュール見直し・パッケージエアコン温度の見直し					
温室効果ガスの吸収等	区 分					実施年度 (平成 29 年度)	
						二酸化炭素換算(t)	
		<input type="checkbox"/> 森林の整備等				t-CO ₂	
		<input type="checkbox"/> 経済的手法の活用				t-CO ₂	
		グリーン電力証書の購入				t-CO ₂	
		グリーン熱証書の購入				t-CO ₂	
		オフセット・クレジットの購入				t-CO ₂	
		国内クレジットの購入				t-CO ₂	
	J-クレジットの購入				t-CO ₂		
	合 計				①		t-CO ₂
温室効果ガスの排出の抑制の量の削減実績	区 分	基準年度 (平成 28 年度)	目標年度 (平成 31 年度)	対基準 年度比 (%)	実施年度 (平成 29 年度)	対基準 年度比 (%)	
	温室効果ガス 排出量	(二酸化炭素換算(t))② 6,847 t-CO ₂	(二酸化炭素換算(t)) 6,780 t-CO ₂	99.0	(二酸化炭素換算(t))③ 5,397 t-CO ₂	78.8	
	<input checked="" type="checkbox"/> 差引排出量 A	(二酸化炭素換算(t))② 6,847 t-CO ₂	(二酸化炭素換算(t)) 6,780 t-CO ₂	99.0	(二酸化炭素換算(t))③-① 5,397 t-CO ₂	78.8	
	<input type="checkbox"/> 原単位排出量 A/B						
	温室効果ガス排 出量と密接な関 係を持つ値 B						
排出量等の 増減理由	職員に省エネの意識化を図る為、職員食堂前に月々の電気使用量をグラフにし掲示するなどの工夫を行った。						
特記事項							

(注)

1 「基準年度」欄及び「目標年度」欄には、地球温暖化対策計画書（当該計画書を変更した場合にあっては、変更後の地球温暖化対策計画書）に記入した数値を転記すること。

2 「温室効果ガスの吸収等」欄については、これらの措置を実施したときは該当する□にレ印を記入し、「二酸化炭素換算(t)」欄に値を記入すること。

3 「増減理由」欄については、実施年度の数値が基準年度の数値よりも増加・減少した理由（計画期間の最終年度に係る報告にあっては、削減目標が達成できた・達成できなかった理由を含む。）を記入すること。

4 「特記事項」欄には、「温室効果ガスの排出の抑制等のために実施した措置の内容」欄に記入したもののほかに、地球温暖化の防止のために取り組んだこと等を記入すること。